

広報 Koho Gallery  
展示室

第25回

2代歌川広重(1826~1869)は、初代広重と同じ定火消同心の鈴木家の子として生まれました。名は鎮平。初代広重に10歳半で入門したと推測され、画号は重宣。現在確認できる浮世絵は27歳に発表した「大井川かち渡し」(大判3枚続)ですが、初作は20歳ごろと考えられます。2代広重は、初代広重の晩年の作品制作を手伝い「名所江戸百景」の揃物の中には数点から数十点2代広重の代作が含まれていると言われるほど画風は似ています。初代広重が安政5年(1858)に亡くなる時の遺言に弟子の中で唯一重宣の名だけが記されていることから重宣の存在の大きさが伺えます。そして翌年の春に重宣は2代広重を襲名し「諸国名所百景」(大判85枚(未完)安政6年4月~文久元年9月 版元:魚屋栄吉)の大作に挑みます。

図は日本三景の1つ、松島です。場所は宮城県宮城郡松島町。この松島は太平洋から両手で覆うような形をした松島陵の入江にあり、その中には大小260以上島が点在しています。島々は長年の自然の浸食により様々な形に変形しているため、風光明媚の景観となっています。そのため古来より名勝地として和歌や絵画の題材として扱われてきた。松尾芭蕉は「島々や千々にくたきて夏の海」と詠んでいます。絵画では谷文晁の「松島暁景図」や葛飾北斎の「奥州塩竈松島之略図」などが知られています。画面に小さく配されている五大堂は、大同2年(807)に坂上田村麻呂が東征の途上この場所に建立し、後に慈覚大師が五大明を安置し、慶長9年(1604)に伊達政宗は現在の形に改築しています。

初代広重没後150年記念特別展  
初代広重と2代広重の諸国名所絵展  
—六十余州名所図会と諸国名所百景—



2代歌川広重 諸国名所百景 奥州 松島 真景

【会期】前期 9月29日(土)~10月28日(日)  
後期 11月1日(木)~12月2日(日)

【記念講演会】

10月7日(日) 学習院大学講師 藤澤 紫氏  
11月11日(日) 当館学芸員 市川信也

【ミュージアムトーク(展示解説)】

当館学芸員 午後1時30分~  
前期 9月29日(土)、10月13日(土)  
後期 11月3日(祝土)、11月17日(土)

【開館時間】 午前9時30分~午後5時まで  
(ただし入館は4時30分まで)

【入館料】 大人 800円(720円)  
高・大学生 500円(450円)  
小・中学生 150円(135円)  
※( )は20名以上の団体料金  
※70歳以上、小学生未満は無料

ばとうの観光写真コンテスト受賞作品  
入選

ミニギャラリー  
作品募集!

あなたの作品をここに出品  
してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの  
作品をお待ちしております。

問い合わせ:企画財政課

☎0287-92-1114

さくら舞 佐海 忠夫さん(真岡市)



ミニ  
ギャラリー



浄法寺農地水保全活動の「ひまわり」